

週 報

1988年10月16日 聖霊降臨節第22主日
信徒伝道週間(22日まで) 教育週間(23日まで)

巻 9 29号

1988年度教会主題

「真理の御言に聴き、従う」

あなたの御言は真理であります。あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

ヨハネによる福音書17章17節b-19節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 雄

礼拝後、熱心な、又希望ある話し合いをすることができた。計画が具体的に見えてきて、うれしい限りである。その話し合いで、昨年5月の定期教会総会の決議事項を越える話が、進行しているのではないかとの意見があった。総会で決議された会堂の形や予算は固定的なものではなかったが、話し合いを進める段階で確かに変わってきた点もある。そのことが、総会を開いて承認されていない。会堂建設は「決議」そして「実行」と直線的にはいかないだろう。話し合いと予算を流動的に噛み合わせていかざるを得ない。しかし、総会を尊重し、話し合いを決議において確認していかないと混乱する。心したいと思った。又、話し合いに参加できなかった人にも、その内容を的確に伝え、教会員全体で会堂建設に関わらなければならない。

私は教会の名前を決めることから会堂建設まで携われる牧師に召されたことを本当に光榮に思う。

一牧師室から一

「会堂建設」を主題にして教会全体一日修養会を、朝の礼拝から夜9時まで行った。私は、会堂建設という苦しみと喜びを共にする中で、神が私たちの信仰を養い、強めてくださると信じている。それには完成に至るまでの過程を何より大切にすることだと思う。神礼拝に集中し、福音宣教に努力し隣人への奉仕に生きる教会を目指す。神の名を用いた文化的社交場ではなく、自分の罪を悔い改める自己否定と神のみを神とする信仰者の群がキリストの体なる教会にされていく。この聖書に示された基本的信仰姿勢を持ち続けて会堂建設に関わりたい。それを神は顧みて完成まで導き、その後の教会も祝福してくださると説教した。